

HARU

stuck-on design;



Milano Fouri Salone 2018

HARU stuck-on design; bring color into your life

2018.04.17 (tue) -04.22 (sun) @ Ventura Centrale

株式会社ニトムズは、「色を貼る」という新たな発想で生まれた、貼ってはがせる空間装飾テープブランド「HARU stuck-on design;」により、2018年4月17日（火）～22日（日）の期間、イタリア・ミラノで開催するミラノフォーリサローネに出展いたします。

空虚な場所に真紅の絨毯を敷くと、その空間は一瞬にして、絢爛で神聖な空気に包まれるように、色は空間を彩りながら、人の心理にも影響を及ぼしていくものです。ときどきの気持ちやシチュエーションに応じて、もっと自由に色を空間に取り入れることができたなら...そんな思いから生まれたのが「HARU stuck-on design;」です。

2016年のミラノフォーリサローネでのブランドローンチから3回目の出展となる今年は、VENTURA CENTRALE（ミラノ中央駅の高架下スペース）を会場に、クリエイティブユニット SPREAD と共に、色の世界を探訪するサイトスペシフィックなインスタレーションを実施します。

Inspiration

広がるイマジネーション

数万年前に描かれた洞窟壁画。動物や人、幾何学模様の彩画は、人類最古の絵画とされています。先人たちはその壁画を初めて見たとき、何を感じたのでしょうか。今までなかったものが、色や形をつけて、洞窟に施されたことによって、機能的な伝達手段とともに、感覚的なイマジネーションも、彼らの世界は一気に広がったのではないのでしょうか。暗黒の洞窟の中で、光を照らすと見えてくる色、形は、喜びそのもの。このような人類の歴史の中で偉大な発見の一つがなされて以来、「色」は社会に喜びを与えてきたと考えられます。

HARU stuck-on design; は、クリエイティブディレクターを務める SPREAD とともに、ミラノサローネの場で、この人類最古のアートとされる洞窟壁画をインスピレーションに、HARU stuck-on design; の特徴である色にフォーカスし、色から広がるイマジネーションをテーマに会場を構成いたします。

Space

会場となるのは、ミラノ中央駅の高架下のスペース。昨年より、VENTURA PROJECTS 主催によって、フォーリサローネの新しい会場に加わったその空間は、ミラノ中心部でありながら30年もの間、使用されずに暗く閉ざされていた場所でした。HARU stuck-on design; は、これまでも色が人や空間にどれだけの影響力があるか示したいと、国内外のショップやギャラリー、ミュージアムなどで表現してきました。今回は、経年変化した高架下の暗く、決して美しいとは言えない空間に、色を貼り、彩ることで、人々の感覚や感性にいかに影響を与えるか、大きな挑戦でもあります。株式会社ニトムズは、HARU stuck-on design; を通して、得意としてきたテープの機能性や利便性の追求だけでなく、また違った領域に踏み込み、人々の感情へと作用する「色を貼る」という新しい文化を世界へ提案していきたいと考えております。

暗闇に光を照らすと見えてくる色、形、そこから広がる様々なイマジネーション、そして喜び。

色、貼る、変わる、そして広がる。空間はもっと自由になるはずです。ぜひご注目ください。



VENTURA PROJECTS (ヴェントゥーラ・プロジェクト) は、2010年から2017年の間、ミラノ市郊外で行われていた「VENTURA LAMBRATE (ヴェントゥーラ・ランブラーテ)」を発祥とする、デザインの最前線を追うエキシビジョン・プロジェクト。ミラノのみならず、ニューヨーク、ロンドン、ベルリン、ドバイなど、世界各国で開催されています。「VENTURA CENTRALE」は、2017年よりスタートし、本年2回目の開催です。本年は会期を同じく、「VENTURA FUTURE」もミラノ市内で開催されます。

Works



Casa GIFU (ミラノ/イタリア) 2016年
2016年ミラノサローネでの、ブランドローンチ。Casa GIFUの会場にて、ゲストブランドとして、床、壁、天井を多彩なテープで彩った。



Travel Through Design (ミラノ/イタリア) 2017年
2017年ミラノサローネでは、フランスの Meet My Project に参加。テープを重ねたときに、透けてみえる様子を、グラフィックとして表現。



Paper Garden (東京/日本) 2016年
デザインスタジオ、アトリエオイと岐阜県の連携プロジェクト「Honminoshi Garden」と共に、伝統とテクノロジーが交錯する「光の空間」を演出。20mに渡るスパイラルガーデンの壁面に光が乱反射する様子を大胆に表した。

Profile

**HARU stuck-on design;**

haru-stuckondesign.com

HARU stuck-on design; は、株式会社ニトムズが、「色を貼る」という発想のもと、クリエイティブユニット SPREAD と共に開発した跡を残さず貼ってはがせる空間装飾テープ。工業・医療・電子材料など、多岐にわたる Nitto グループの技術が結晶し、心に響く色空間を創造する、自由なデザインツールとして2016年に誕生。人々の感性を刺激しながら、それぞれが思いのままに彩り、自由な空間づくりができるよう、独自の思想にもとづく8種類のカラーファミリーからなる豊富なカラー展開、さまざまな目的や用途、使う場所に応じた質感や粘着性を変えた3種類の素材と2種のパターンファミリー、プロフェッショナルな用途に応える多彩なサイズ構成が特徴。

**SPREAD**

www.spread-web.jp

小林弘和と山田春奈によるクリエイティブ・ユニット。環境・生物・物・時間・歴史・色・文字、あらゆる記憶を取り入れ「SPREAD = 広げる」クリエイティブを行う。「カラーとコンセプト」を特徴にロゴ、CDジャケット、展覧会などのグラフィック、プロダクト、パッケージのデザイン&ディレクションに広く関わり、常に社会提案を心がける。2017年には「国立新美術館開館10周年」記念ビジュアルのデザインを手掛け、主な仕事に、工場見学イベント「燕三条 工場の祭典」、空間デザインツール「HARU stuck-on design;」、コスメブランド「Celvoke」「F organics」、CDジャケット「相対性理論/正しい相対性理論」、ストールブランド「ITO」、「萩原精肉店」VIなど。2004年より、生活の記録をストライプ模様で表す「Life Stripe」を発表して注目を集め、スパイラルガーデン（東京、2012年）、ミラノサローネ（イタリア、2012年～2014年）、Rappaz Museum（スイス、2014年）、在スイス日本国大使館（スイス、2015年）、茨城県北芸術祭（日本、2016年）などで個展を開催。主な受賞歴に、red dot design 賞、iF design 賞、D&AD 賞、ドイツデザイン賞、Pentawards、アジアデザイン賞、グッドデザイン賞、日本パッケージデザイン大賞、読売広告大賞ほか。

Nitto Group / Nitoms

www.nitoms.com

粘着技術や塗工技術、高分子機能制御技術などの基幹技術をベースにシートやフィルムに様々な機能を付加し、幅広い領域で事業を展開している Nitto。その家庭用製品開発プロジェクトチームを母体として、1975年、株式会社ニトムズ設立。Nitto グループの「感動品質」を世界のお客様に届けようと独創的な製品を生み出している。粘着を応用した製品を展開し、日用雑貨、DIY 業界へと進出。1983年に誕生した粘着カーペットクリーナー「コロコロ」の大ヒットで、ニトムズ・ブランドを確立。その後も、「快適・便利で・独創的な製品を生み出し、人々の暮らしに貢献する」の経営理念のもと、住まいと暮らしに関わる多彩なホーム・プロダクツや医療やヘルスケア製品の開発、製造、販売を行なっている。



Event Outline

タイトル： HARU stuck-on design; bring color into your life
 会期： 2018年4月17日（火）～22日（日）
 時間： 10:00～20:00（最終日～18:00）
 会場： VENTURA CENTRARE via Ferrante Aporti 11 Milano
 プレスプレビュー：4月16日（月）15:00～19:00
 主催： 株式会社ニトムズ
 クリエイティブディレクション：SPREAD